

令和5年度 いちき串木野市立照島小学校グランドデザイン

【学校教育目標】 確かな学力を身に付け、豊かな心とたくましく生きる力を備えた子供の育成

- 日本国憲法・教育関係法令等
- 県・地区・市教育振興基本計画
- 市教委の方針
(3アップ教育プロジェクト)

【校訓】 波濤を越えて(昭和25年制定)

【目指す児童像】

- 1 よく考える子(知)
- 2 思いやりのある子(徳)
- 3 たくましい子(体)

【目指す学校像】

- 1 楽しい学校
- 2 分からない(できない)ことを分かる(できる)ようにする学校
- 3 活力ある学校
- 4 組織で動く学校
- 5 協働する学校

【目指す教師像】

- 1 指導力のある教師
- 2 子どもに寄り添う教師
- 3 職責感に満ちた教師
- 4 保護者・地域に信頼される教師

【目指す家庭像】

- 1 明るいあいさつが交わされ、対話のある家庭
- 2 生活のルールが学べる家庭
- 3 地域の行事に親子で参加する家庭

学力・学習意欲アップ

1 基礎学力の定着

- 学習のきまりの定着(年度はじめ, 学期はじめの徹底)
- 授業の充実(「照島の力の付く授業の5か条」90%以上)
- 学習意欲と基礎学力の向上(3分間チャイム, 習熟の時間)
- 思考力, 判断力, 表現力の育成~話し合い活動の充実
- 特別支援教育の実践・充実(全教育のユニバーサルデザイン化)
- 全国学調, 県定着度調査, NRTに向けた取組(昨年度比1ポイントアップ)→**思考する授業**・個別指導の徹底
- 全教科授業での音読の効果的活用, 実践
- 漢字力・計算力週間の徹底した取組(定着率85%)

2 指導力向上に向けた取組

- **授業を通じた研修の実施**(略案授業100%)
- テーマに基づくワークショップ型の校内研修の実施
- ICT機器の**効果的**活用・指導の研修と実践

3 家庭学習の充実

- 「家庭学習の手引き」の実践と担任等による見届け
- 家庭における称賛激励の推奨
- 音読の推奨、保護者との連携



人権感覚・思いやりアップ

1 基本的なマナーの徹底(AKB作戦)

- あいさつ・返事の徹底(90%以上)
- くつ・スリッパならべの徹底(90%以上)
- **ボランティア活動の推進**(90%以上)



2 思いやりの心の育成

- 道徳科の授業の充実(特別の教科としての質の充実)
- いじめ防止と不登校傾向児への支援体制(全職員が共有・対応)充実(不登校0の継続, いじめ100%解決)
- 読書活動の推進(てるてるくらぶとの連携・活用)
- 汗する活動(一人一鉢, 学級園・学校園, 小動物の世話, 委員会・係活動, ボランティア活動)の充実
- ふるさと教育の推進(郷土素材の活用, 景観学習の継続)

3 生徒指導態勢の確立

- 人権教育の視点に立った学校・学級経営の充実(いじめアンケート等の年5回実施)
- 毎月の生活目標・保健目標の取組(80%以上)
- 教育相談等(定期・随時, SC・SSW等の活用)の実施(全児童・全保護者を対象に100%)

健康・体力アップ

1 健康・安全教育の充実

- 早寝・早起き・朝ご飯の推進(家庭との連携, 睡眠教育)
- 手洗い・うがい, 廊下歩行の励行(80%以上)
- 安全指導の徹底(重大事故0, KYT, 情報モラル)
- **交通ルールの遵守**(交通事故0, 波濤を越えて隊との連携)
- う歯治療率の向上(保護者との連携, 70%以上)
- 安全点検の実施(月1回)と**迅速な対応**
- 食に関する指導の充実(給食マナーの徹底と残食率10%未満, 栄養教諭活用)
- 学校環境の美化・整備



2 正課体育の充実

- 一単位時間における**活動量の確保**(25分以上)
- 個人課題の設定や小黒板・評価カード・タブレットの活用
- 全身持久力, 筋力, 投力を高める補強運動の実践

3 児童の主体的な体力・気力づくりへの支援

- **いのちの教育推進**(自他の命を大切に作る心, がん教育)
- 体力ナビの活用と個別指導の充実(全児童)
- ランニングカードやなわとびカードの活用
- 「チャレンジかごしま」への挑戦(全学年)
- 「一家庭一運動」の推進

服務規律の厳正確保(当たり前だが不祥事0に向けて): 重点課題「ゆとりをもった運転」「教育の質を下げない校内働き方改革」「職場のユニバーサルデザイン化」(個人目標・振り返り等)

照島小コミュニティスクール(学校運営協議会)・小中一貫教育

信頼される学校づくり: PTA活動の活性化(組織体制の周知と機能化, PTA活動への参加率80%以上, う歯治療70%以上)校区との融合(まちづくり協議会との連携, 波濤を越えて隊(学校教育支援ボランティア)の積極的活用, ホームページや学校便りによる情報発信(マスメディア活用), 県民週間の参加者10%アップ)